
お隣さんは極道さん

蓮花あい

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

お隣さんは極道さん

【Zコード】

N4002A

【作者名】

蓮花あい

【あらすじ】

仲良し夫婦の隣に引っ越ししてきたのは、極道の3兄弟。義理人情に厚い彼らとはちやめちやな生活が待っていた。

波乱のはじまり

お隣りは極道さん 第一部

「なんか騒がしいね」キーをたたくのをやめて聰史が言った。

「お隣の空き部屋、今田入居で引越しだって」桃子は洗濯物を干しながら答えた。

聰史と桃子は結婚2年。大学の先輩後輩で付き合つて3年で結婚した。

夫の聰史は31歳、大学に残つて講師をしている。専門は古代ローマ史。

妻の桃子は28歳、アパレル関係で企画の仕事に慣れてきたところだ。

頭はいいけど、ちょっと頼りない感じの聰史と、少し天然だが、あつけらかんとした桃子は仲がよく、それなりに普通の新婚生活を送つていた。

そのベルが鳴るまでは・・・

ピンポーン

「どなたですか？」

「今日となりに越してきたもんですが・・・」

桃子がドアを開けると

そこには3人の男が立っていた。

首に金のネックレス、腕にロレックスのダイヤ入り時計、派手な柄の赤シャツに黄色のネクタイ、紫のスーツ、エナメルの靴という、ビルのパーティをとっても間違えようもないほど完璧に

それは極道さんだった。

そして格好も容姿も違うが、いずれもパーフェクトな極道さん2号3号が

その背後に立っていた。

（ああ、よくシネマに出てくるような極道さんたちだわ。 川翔

とか竹 力とか。

どうしよう、はじめて見ちゃった、こうこうときそれ流の挨拶のやり方があるんだよね、

こんなことなら仁義なき戦いシリーズとか見ておけばよかつたわ、レンタル半額でーに）

桃子が固まりながらも頭でこなことを考えてるついで、男の手が桃子の前に差し出された。

「な、な、な、なにをするんですかっ！僕らは善良な市民です、その道の方々にいちやもん

をつけてこられす筋合いはあつません……」と後の部屋から飛び出して桃子の前に立ちはだかり聰史は叫んだが、その声は蚊取り線香でへろへろになつた蚊の飛ぶ音より小さく弱弱しかつた。

「今日隣りに越してきました。これ、引越しそばの代わります。今度ともよろしく、それじゃまた」

極道1号（桃子命名）が聰史に渡したものは「ペラルちゃんの天使の入浴剤 森の香りとグレープフルーツの香り&お肌に優しい天然素材のタオルセット」だった。

「わー、これほしかつたんだよね、人気があつてどこでも売り切れなんだよ」

桃子はセットに入つていたピラノの浮きおもちゃのおなかをブクブク押しながら喜んだが、

聰史は妻のように氣楽には考えられなかつた。

「……どうしよう、もし洗濯物が風で隣のベランダに飛んでいつたら、僕に取りにいく勇氣があるんだろうか……」

かくして二人の平穏な生活はこの日から波乱の日々へと変わつたのである。

熱い3兄弟（前書き）

若夫婦の隣に越してきたのは、なんと極道3兄弟だった。

熱い3兄弟

お隣さんは極道さん 第一部

「アニキ、やつぱーの格好はカタギの人にはまずいんじゃないのか？」

のつぼの極道2号こと、次男の剛がいった。

「バカヤロー！人間第一印象が大事なんだよ、きちんと正装して挨拶いれるつてのが礼儀つてもんよ」

弟の顔を見上げて、長男の哲がにらんだ。

「でもさー、『一デイナー』が古くない？今時こんなべたな服、さすがに見ないよ、いくてなって」

極道3号こと、三男の翔が哲のスースをめぐりながらいった。

「うつせー！そういうや、腹減ったな。剛、なんか飯作れよ」

「今夜はマダガスカル風グリーンカレーにするかな」

「えー、また無国籍料理かよ、いい加減まともなものマスターしてよ」

「あんだと！弟のくせに生いつてんじゃねー！だつたら自分で作れ！いい年こいて、いまだにアニキを頼るんじゃねーよ、半人前の分際で」

「少しくらいでかくて年くつてるからって、そこまで威張れんのかよー！」

上等じやねーか、この際きつちつケジメつけさせてもらひばせー！」

「てめえら、いい加減にしねえと、出刃で腹にじらふもん書こひやうぞー！」

大体マンションの廊下でガタガタ騒いだら近所迷惑だらうが、ちつ
とは

社会人としてのモラルを考えろーほら飯、飯

三兄弟が部屋に入つていき、ドアで聞き耳を立てていた聰史と桃子は
無言でソファーにへたりこんだ。

「あの人たち、やはりれつきとした極道だつたんだな・・・」

聰史がつぶやく

「驚いたわ・・・全然似てないのに三兄弟だつたなんて・・・」

桃子がため息をついた

「・・・そういう問題じやないと思つけど

「・・・それに、マダガスカル風グリーンカレーつてどんなのかしら

「・・・・・」

夕焼けがやたら鮮やかなオレンジ色の空だった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4002a/>

お隣さんは極道さん

2010年10月9日02時36分発行